

# 展開指数分析表(2020年桜花賞予想)

2020年4月12日 馬流天星

西暦	ラップ(上から1F毎、4F刻み、テン3F&上がり3F)								上がり3Fとテン3Fの差	BPR(3角)配点	1200m			1400m			1600m		1800m	馬場補正	展開指数
	1	3	5	1	3	5	1	3			1										
2020年																				24	
2019年	12.2	11.1	12.1	12.3	11.7	10.8	11.0	11.5	-2.1											9	
	35.4		24.0		33.3																
2018年	12.3	10.7	11.5	12.1	12.1	11.5	11.3	11.6	-0.1			1		1			1	3		24	
	34.5		24.2		34.4																
2017年	12.7	10.9	11.1	11.8	11.8	11.5	11.9	12.8	1.5					2		1	1	1	1	37	
	34.7		23.6		36.2																
2016年	12.4	10.7	11.7	12.3	12.0	11.4	11.3	11.6	-0.5					2	2		3			39	
	34.8		24.3		34.3																
2015年	12.7	11.7	12.7	12.9	12.5	11.3	10.7	11.5	-3.6			2			1		2	1		23	
	37.1		25.4		33.5																
2014年	11.9	10.5	11.4	11.5	11.7	11.4	12.8	12.1	2.5		1			2		1	4	2		54	
	33.8		23.2		36.3																
2013年	12.4	11.0	11.4	12.1	12.0	11.9	11.5	12.7	1.3					1	1	2	2	3		32	
	34.8		24.1		36.1																
2012年	12.7	10.9	11.3	12.2	12.2	12.1	11.0	12.2	0.4			2			1		4			19	
	34.9		24.4		35.3																
2011年	12.1	11.0	11.5	12.1	11.8	11.3	12.0	12.1	0.8		1	2		1	1		1			32	
	34.6		23.9		35.4																
2010年	12.6	11.2	11.8	11.9	11.4	11.1	11.1	12.2	-1.2			1		1	1		2			13	
	35.6		23.3		34.4																
2009年	12.4	10.8	11.7	12.0	12.2	11.7	11.6	11.6	0					1		4	1	1	1	23	
	34.9		24.2		34.9																
2008年	12.4	10.9	11.3	11.8	12.1	11.7	11.6	12.6	1.3			2			1		3	2	1	30	
	34.6		23.9		35.9																
2007年	12.7	11.6	11.4	12.1	12.0	11.6	10.6	11.7	-1.8		1	1	1		1		1	2	1	28	
	35.7		24.1		33.9																

※馬場補正については、当日午後一の芝レースの馬場状態が不良の場合は+15、重の場合は+10、稍重の場合は+5としている。

この展開指数は、出走馬のBPRを上記の配点にて合計した値です。2007年以外は「上がり3Fとテン3Fの差」のレンジと概ね連動しています。展開が速い場合には調教時計の優秀なタフ系、遅い場合には走法の良い末脚系の馬を重視すると良いと思われます。2018年に導入し、2018年は-1.5~0.5を想定して-0.1の結果、2019年は-2.0~-0.5のペースを想定して-2.1の結果と概ね的中しています。2020年は展開指数が24となり、-1.0~1.0のミドルペースを想定します。